

平成30年度（第13期）の事業報告書

平成30年7月1日から令和元年6月30日まで

特定非営利活動法人
夕立山森林塾

1. 事業の成果

今年度も人工林の現状に対するアプローチを引き続き行ってきた。その中で「広葉樹の森づくり」という観点も取り入れあるべき森づくりを模索した。一方でその過程で生じやすい作業事故に対し安全対策の必要性を強く感じた年度でもあった。

これらを踏まえた主な活動は以下のとおりである。

（恵那市林業機械安全利用講習会）

恵那市からの受託事業で例年「山しごと手習い塾」の名称で行っている。座学から間伐した木々を搬出するまでという一連の講座である。今年度は単発講座に区切って開催し参加の便を図った。潜在的にあると思われる需要を掘り起こし次年度につなげていきたい。

（宮川森林組合視察）

スギ・ヒノキの間伐、有効活用だけではなく「広葉樹の森づくり」の観点も取り入れた森林管理を模索した。地域の山づくり活動をしている有志で宮川森林組合を視察し同組合の取り組みについて説明を受けた。広葉樹の森づくりのチャレンジや仕組みづくりなど大いに刺激になり勉強の機会となった。今後は恵那市への展開も図っていきたい。

（えなの森魅力発信事業）

恵那市の森林づくり推進委員会の中で、林業・木材産業の振興のための事業の検討が重ねられてきた。それを受けて当塾が担い手となる人材の発掘・育成に向けて、恵那の森と林業の実際見学体験するツアーを実施した。恵那市はもとより広く他地域から募集した結果、思いの深い参加者が多く集まり、盛況であった。参加者からは引き続きいろいろな形で恵那の森林づくりに関わりたいというコメントも多かった。これは林業振興を皮切りに関係人口、交流人口も含めた活性化につながると感じた。

（恵那市チェンソー講座）

広葉樹の伐採中に起きた死亡事故を受けて恵那市は市内のチェンソーを使う人や山林所有者等に向けた再発防止講座を計画した。具体的には恵那市森林組合の主催でチェンソーの基本的な伐倒、扱いの講座を開催する。当塾ではその講師を担当した。

今年も全国的にもチェンソーの作業に起因する事故の報告が目立った。我々の活動はプロではないアマチュアが専ら対象である。普及活動には特に安全面の配慮が求められる。当塾としても過去に講座に参加された方に異例の通知を出し、広葉樹の伐採についての危険性の周知をおこなった。

山村の人口減少や都市部の田舎志向等々ますます我々の活動は重要性を増していくだろう。

それは一般人がチェーンソーを持ち、山に入り針葉樹を中心に伐採活動をする機会が増えることかもしれない。当塾にご縁がある方々や、これから山村に入ってくる人たちへのサポートを通して、安全に楽しく山林や里山の手入れをする為のお手伝いができれば幸いである。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数
自然環境の保全にかかわる教育・啓発事業	恵那市の委員会への出席 (えなの森林づくり推進委員会)	(A) H30年 7月～ (B) 恵那市 (C) 2名	(D) 恵那市 (E) 不特定多数
森林および地域文化情報の収集・提供および調査研究提言事業	(地元山造り活動団体) 野井山造りの会支援 (運営・技術支援)	(A) H30 7～2月 (B) 恵那市三郷町 (C) 3名	(D) 構成員 (E) 30名
森林および地域文化研修・講習会	(恵那市委託事業 H30) 素人山主さんのための山しごと手習い塾	(A) H30 9～11月 (B) 恵那市山岡町 (C) 5名	(D) 受講生 (E) 延 47名
	(自主事業) 宮川森林組合視察	(A) H30 7/6 (B) 三重県大台町 (C) 4名	(D) 参加者 (E) 8名
	えなの森魅力発信モデル事業委託	(A) H31 3/23～24 (B) 恵那市 中野方町、飯地町 (C) 4名	(D) 参加者 (E) 15名
	恵那市チェーンソー講習	(A) H31 6/26 (B) 恵那市東野 (C) 2名	(D) 受講生 (E) 15名

(2) その他の事業

無し

活動計算書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 夕立山森林塾

自 2018年 7月 1日 至 2019年 6月30日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	36,000	
賛助会員受取会費	12,000	48,000
【事業収益】		
自主事業収益	82,230	
受託事業収益	2,329,200	2,411,430
【その他収益】		
受取利息	17	
雑収益	374,000	374,017
経常収益計		2,833,447
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
業務委託費	100,000	
諸謝金	1,046,550	
印刷製本費(事業)	18,913	
会議費(事業)	8,759	
旅費交通費(事業)	306,660	
通信運搬費(事業)	4,166	
消耗品費(事業)	19,488	
賃借料(事業)	19,480	
保険料(事業)	32,918	
諸会費(事業)	120,432	
研修費	30,240	
雑費(事業)	104,235	
その他経費計	1,811,841	
事業費計		1,811,841
【管理費】		
(人件費)		
給料手当	240,000	
福利厚生費	9,740	
人件費計	249,740	
(その他経費)		
印刷製本費	10,089	
会議費	7,952	
通信運搬費	38,620	
消耗品費	289	
修繕費	128,986	
地代家賃	72,000	
保険料	2,000	
租税公課	1,000	
支払手数料	4,832	
雑費	13,551	
その他経費計	279,319	
管理費計		529,059
経常費用計		2,340,900
当期経常増減額		492,547
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
固定資産除却損		2
経常外費用計		2
税引前当期正味財産増減額		492,545
当期正味財産増減額		492,545
前期繰越正味財産額		2,228,324
次期繰越正味財産額		2,720,869

貸借対照表

特定非営利活動法人 夕立山森林塾
全事業所

[税込] (単位: 円)
2019年 6月30日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	32,884		
普通預金(十六)	1,951,334		
普通預金(郵貯)	1,220,207		
現金・預金計	3,204,425		
流動資産合計		3,204,425	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
車両運搬具	1		
有形固定資産計	1		
固定資産合計		1	
資産合計			3,204,426
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金	240,000		
前受金	151,000		
預り金	92,557		
流動負債合計		483,557	
負債合計			483,557
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		2,228,324	
当期正味財産増減額		492,545	
正味財産合計		2,720,869	
負債及び正味財産合計			3,204,426

財 産 目 録

特定非営利活動法人 夕立山森林塾
全事業所

【税込】(単位:円)
2019年 6月30日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現 金	32,884		
普通 預金(十六銀行)	1,951,334		
普通 預金(郵貯銀行)	1,220,207		
現金・預金 計	3,204,425		
流動資産合計		3,204,425	
【固定資産】			
(有形固定資産)			
車両運搬具			
グラップル	1		
有形固定資産 計	1		
固定資産合計		1	
資産合計			3,204,426
		《負債の部》	
【流動負債】			
未 払 金			
H30年度事務処理人件費	240,000		
前 受 金			
グラップルリース料	150,000		
賛助会員会費前払い	1,000		
預 り 金			
源泉所得税 (H31 上期分)	92,557		
流動負債合計		483,557	
負債合計			483,557
正味財産			2,720,869